

第 3 編

啓 発

平成31年4月7日執行長崎県議会議員一般選挙臨時啓発事業の実績

1. 啓発の目的

投票日の周知と投票の総参加を呼びかけ、投票率の向上を図る。
特に、若い世代を中心に、幅広い世代に投票率向上の効果が期待できる啓発事業に重点をおいて取り組んだ。

2. 事業内容

(1) ポスター（テーマ：投票はあなたの意思表示！）の掲示

長崎県議会議員選挙の啓発ポスターを作成し、県、市町、公共施設、主要官公署・事業所、JR駅等に掲示した。

啓発効果を高めるため、ポスターのデザインは、テレビCMと同じデザインで作成した。

〈内 容〉	A 2	1 1、	4 2 0 枚
	B 2	1、	2 9 0 枚
	合計	1 2、	7 1 0 枚

(2) 啓発ステッカーの掲示、中吊りポスターの掲示

県内の路面電車、バス、タクシー車内に投票日周知のためのステッカー及び中吊りポスターを掲示し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

〈内 容〉	ステッカー	タクシー	3、350 枚	
	中吊りポスター	(B 3)	路面電車	140 枚、
			長崎バス	120 枚、
			県営バス	120 枚

※JRは火曜日から火曜日の掲示なので、県議選では掲示不可。

※県北地方書記室においても、松浦鉄道14面にて中吊り広告56枚を掲示。

(3) テレビ、ラジオスポット（テーマ：投票はあなたの意思表示！）放映

テレビ、ラジオ用スポットCMを作成し、民放各社及びケーブルテレビでスポット広告を放送することにより、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。若い世代に浸透しやすいうようにするため、長崎県出身の同世代の女優が出演するテレビCM（15秒）を制作した。

〈内 容〉	・テレビ民放3社	100本
	・県内主要ケーブルテレビ3社	171本
	・ラジオ民放2社	100本

テレビと同じスポットCMを屋外大画面2箇所

・長崎駅かもめビジョン

・ピアスパーク

・ペンスタワーネット放送局「よかよかテレビ」、YouTube県公式チャンネル

「がんばらんばチャンネル」にも掲載した。

(4) 新聞広告

5紙（長崎新聞、西日本新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞）の広告欄に全2段の啓発広告を投票日前日（4月6日）に掲載した。

(5) コンビニエンスストアレジラジ広告

コンビニエンスストア（ローソン112店舗及びファミリーマート157店舗）のレジ画面広告を活用した選挙啓発を実施した。

(6) インスタグラムでの啓発による啓発 ※全選挙を通じて初

インスタグラム（写真や動画の共有サービス）に県議会議員選挙啓発用CM及びポスター素材を活用した広告を配信し、若年層（18～34歳）に向けて投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

〈内 容〉 表示期間 平成31年3月29日（金）～4月7日（日）20時
表示回数 281,225回

(7) 県広報ラジオ番組による啓発

県広報ラジオ番組において、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

〈内 容〉 ・NBCラジオ「県庁タイムス」平成31年4月1日（月）～5日（金）
・FM長崎「Saturday Chat Box」平成31年4月6日（土）

(8) 新聞広報によるお知らせ

新聞の県広報欄（長崎新聞と西日本新聞の「県からのお知らせ」）において投票日の周知を行った。

〈掲載日〉 平成31年4月4日（木）

(9) 広報誌による啓発

県や市町が発行する広報誌に啓発記事を掲載し、投票日の周知を行った。

〈内 容〉 ・県広報誌 「つたええる県ながさき」第35号（平成31年3月号）の「県政トビックス」にて、明るい選挙推進サポーター事業の紹介とあわせて周知

・市町広報誌 9市4町掲載（文面案は県作成）

(10) 広報車による巡回

啓発用録音テープを作成し、県及び市町の公用車の巡回により、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

また、県公用車にポディパネルを設置し、投票日の周知を図った。

(11) 県が運営するアプリによる啓発

県が運営しているアプリに登録している方に対して、選挙に関する情報を発信し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

〈内 容〉 ・ふるさと情報発信アプリ「このさき長崎」※県議選では初

（県内の様子や出来事などの情報を随時届けるアプリ）

・ながさき子育て応援アプリ「ココロアプリ」※全選挙を通じて初

（県内の子育てに関するイベント・施設・制度等を調べられるアプリ）

(12) 商店街等での横断幕・垂幕・広告塔の設置

商店街等に啓発横断幕・垂幕・タペストリ・広告塔を設置し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

〈内 容〉 ・ 横断幕
 ・ 垂幕
 ・ タペストリ
 ・ 広告塔
 県庁、各振興局
 ベルナード観光通り（超特大サイズ）、島原振興局
 夢彩都内に5か所
 JR長崎駅構内、チトセピア、長崎大学、島瀬公園、
 県立大学佐世保校、長崎国際大学※県議選では初

(13) 電光掲示板による啓発
 街頭にある電光掲示板を使用し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。
 〈内 容〉 大村競艇場、佐世保競輪場の大型ビジョン、
 近畿産業信用組合長崎支店（大波止電停前）

(14) 啓発ポスター移動展
 選挙啓発ポスター移動展を開催し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。
 〈内 容〉 平成31年3月11日（月）～3月20日（水） 長崎県庁1階ロビー
 平成31年3月26日（火）～4月3日（水） 福江港ターミナルビル

(15) 啓発パレード・イベント、街頭啓発
 県内各ブロックにおいて、イベントやパレードを開催し、啓発物資を配布しながら、投票総参加を呼びかけた。
 〈長崎地区〉

3月31日（日）	13:00～	浜の町アーケードで選挙啓発パレード <small>〈県明推協、市明推協、おたくさの会、市選管、長崎女子商業高校吹奏楽部、バトン部、ロマン長崎〉</small> 鐵橋で街頭啓発
4月4日（木）	13:30～	鐵橋で街頭啓発
4月5日（金）	13:30～	夢彩都で街頭啓発
4月6日（土）	11:00～	鐵橋で街頭啓発
〈県北地区〉		
3月30日（土）	13:00～	三ヶ町・四ヶ町アーケードで選挙啓発パレード
〈島原地区〉	13:50～	島瀬公園前で街頭啓発
3月30日（土）	14:00～	イオン島原店で街頭啓発
〈五島地区〉		
4月5日（金）	16:00～	五島シティモールで街頭啓発
〈対馬地区〉		
3月31日（日）	10:50～	市内商業施設（以下）で街頭啓発 ・タケスエ大浦店前（上対馬町） ・ハートランド前（峰町） ・スーパーサイキョー豊玉店前（豊玉町） ・スーパーサイキョー美津島店前（美津島町） ・ティアアラ前（蔽原町）

※啓発物資作成数
 ポケットティッシュ 33,080個
 マスク 21,640個
 風船 4,260個

(16) インターネットホームページ

県のホームページに県議選挙の情報（過去の投票率や選挙結果等を含む）を掲載し、選挙への関心を高めるとともに、投票総参加を呼びかけた。また、投票当日は、投票速報を掲載した。

なお、これらとあわせて市町（13）、県関係団体（9）、県地方機関（1）、大学（7）のホームページに投票日を周知するバナー広告を掲載してもらった。

(17) YouTube「長崎がんばらんばチャンネル」 ※県議選では初のYouTube公式チャンネル「長崎がんばらんばチャンネル」でテレビCMの映像を放送し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

(18) ツイッター
 ツイッターを利用して選挙啓発情報を随時発信した。
 平成31年3月29日（金）以降、22回ツイート

(19) 県が運営するメールマガジンによる啓発 ※全選挙を通じて初
 県が運営している各種メールマガジンに登録している方に対して、選挙に関する情報をメールにて配信した。

〈内 容〉 ・ Nなび（登録者6,000人程度）
（県内企業や求人・イベントなどの情報を提供するサイト）
 ・ ながさきポらんぼネット（登録者1,100人程度）
（県内のNPO・ボランティアを応援するサイト）
 ・ 産業労働部メールマガジン（登録者1,100人程度）

(20) NTTドコモ・ソフトバンクお知らせメール

県内のNTTドコモ携帯利用者の18歳～29歳及びソフトバンク携帯利用者の20歳～39歳の方に対し、投票日前日（4月6日）に選挙期日周知のメールを送信した。

〈内 容〉 ・ NTTドコモ 37,619通
 ・ ソフトバンク 19,000通

(21) 大学新入生への啓発チラシの配布 ※全選挙を通じて初

県内全大学（11校）及び佐世保工業高等学校の協力を得て、新入生オリエンテーション等で啓発チラシを配付し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。
 ※長崎大学（4月1日）とウエスレヤン大学（4月3日）は、長崎県明るい選挙推進サポーターが参加し、直接投票総参加を呼びかけた。

(22) 県内企業への啓発チラシの配布 ※全選挙を通じて初

新規社員の採用予定がある企業のうち、県内に支店がある297社に対して啓発チラシを配布し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

(23) 大学学食テーブル等にミニのぼり

県内全大学（11校）の協力を得て、学食の各テーブル等にミニのぼり（291本）を配置するとともに、啓発ポスターの掲示を依頼し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

(24) 地方書記室による啓発

各地方書記室において、独自に企画立案した啓発を行った。

《東北地方書記室》

- ・告示日から投票日までの期間、管内（離島を除く）において公用車による巡回
- ・庁舎に横断幕の掲示、のぼりの掲出
- ・西肥バスの車体側面に広告掲載
- ・松浦鉄道の駅及び車両（中吊りポスター）の掲示
- ・佐世保市内で65,000部発行の情報誌「ライフさせぼ」に広告掲載

《島原地方書記室》

- ・告示日から投票日までの期間、管内において公用車による巡回
- ・庁舎に懸垂幕の掲示
- ・地元新聞に新聞広告を掲載（3回）
- ・FMラジオにおいて、選挙啓発の内容を放送
- ・庁舎、公共施設、スーパー等にポスター掲示

《五島地方書記室》

- ・庁舎に横断幕の掲示
- ・特産品（あごだしスープ粉末）に自作のシールを貼り啓発物資を独自作成し、島内大型スーパー前で啓発物資を配布しながら投票を呼びかけ。（五島市より「つばきねこ」着ぐるみを借用）
- ・庁舎、公用車、公共施設、スーパー等の管内主要箇所（ポスター・マグネット）を掲示する。（県選管から送付されたものを使用）

《香岐地方書記室》

- ・告示日から投票日までの期間、管内において公用車による巡回
- ・地元新聞2社に新聞広告を掲載（1回）
- ・FMラジオにおいて、選挙啓発CMを放送
- ・学生の利用が多い路線バスの車内にポスターを掲示
- ・島内の各種団体へ投票を呼びかける書記長訪問を実施
- ・書記室職員により、各課主催会議の際に投票参加などを呼びかけ
- ・職員や来局者に対して、庁内放送を実施（1日2回）

《対馬振興局》

- ・告示日から投票日までの期間、管内において公用車による巡回
- ・庁舎に横断幕の掲示
- ・職員や来局者に対して、不在者投票の活用を含め呼びかけを実施
- ・ガソリンスタンド等へ啓発物資を配置し、給油時に啓発品を配布することにより全島民へ啓発

(25) 県内諸団体（機関）への啓発協力依頼

県内主要団体・機関・事業所に対し、職員・従業員の投票総参加と投票日の周知について協力依頼を行った。
デパート、スーパー、大学等に対して、ポスターの掲示と店内（学内）放送を依頼した。

(26) 県内の高等学校及び小中学校と連携して選挙啓発を実施

県内の高等学校及び小中学校と連携して選挙啓発を実施した。

※県議選では初

〈高等学校に下記を依頼〉

- ① 学校敷地内における選挙啓発ポスターの掲示
- ② 3年生生徒に対する選挙関連資料の配布
- ③ 保護者あて投票参加依頼文書等の送付
- ④ 3年生生徒へのお知らせ
(内容) 4月以降も県内に住む生徒は、4月7日の県議選に投票できます。

〈小中学校に下記を依頼〉

- ① 保護者へのお知らせ
(内容) 保護者の方が投票所で投票する際に、生徒（児童）の同伴が可能です。
- ② 生徒（児童）へのお知らせ
(内容) 保護者の方と投票所に行って、投票の様子を見ることが出来ます。

(27) その他

- ① 選挙管理委員会書記及び市町村課職員の期日前投票
- ② 県庁内放送、ポータルサイトの「お知らせ欄」での周知
- ③ 県庁1階大型ビジョンで啓発CMを放映
- ④ 県庁内の来庁者用テابل（1～3階）及び食堂、生協にミニのぼりを設置
- ⑤ 啓発物資（ティッシュ・マスク）を庁内各課窓口カウンターに設置
前ポスターミナル及び長崎県立美術館に設置
- ⑥ 県交通局ポスターミナル（長崎、諫早）のデジタルサイネージにて、啓発CMを放映